

言葉の使い方についてのアンケート（尾渕班）

国文学科2年 尾渕広明 奥出和広 高橋直希

この調査は大学の授業（日本語学基礎演習1）の課題として行うものです。回答していただいたデータは統計的に処理をするので、個人が特定されることはありません。また、調査データの管理は責任を持って行いますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

I. 以下の質問について、あなた自身にあてはまる数字を記入してください。

- ①一週間のうちに、新聞記事（TV、ラジオ欄以外）をどのくらい読みますか？（約　　日）
②一ヶ月のうちに、文芸作品（小説、随筆、評論など）の書籍をどのくらい読みますか？（約　　冊）
③インターネット上に書き込みをすることがありますか？（ジャンルは問いません）　あ
　　てはまる方に○を付けてください。　　　　　　　　　（1. ある　　2. ない）
④ ③で「ある」と答えた方のみ回答してください。
一週間のうちに、どのくらい書き込みをしますか？（約　　回）

II. (1)～(5)の言葉の意味として、A・Bどちらの意味が正しいと思いますか？正しいと思う方の記号に○を付けてください。

- | | |
|---------------|--|
| (1) 気が置けない | A.気が許せない
B.気を使う必要がない |
| (2) 姑息 | A.一時的な間に合わせ
B.卑怯 |
| (3) 情けは人の為ならず | A.親切は相手のためだけでなく、良い報いとして自分に戻つ
てくること
B.甘やかすのはその人のためにならないこと |
| (4) 役不足 | A.役目に対し、その人の力量が不足していること
B.その人の力量に対し、役目が軽いこと |
| (5) 確信犯 | A.罪と知りながら行われる犯罪
B.自らの行為を正しい信じて行われる犯罪 |

III. (6)～(10)の言葉の使い方として、A・Bどちらの使い方が正しいと思いますか？正しいと思う方の記号に○を付けてください。

- (6) A.白羽の矢が当たった。
B.白羽の矢が立った。
(7) A.幸先の良いスタート。
B.幸先の悪いスタート。
(8) A.予防線を引く。
B.予防線を張る。
(9) A.熱にうなされる。
B.熱に浮かされる。
(10) A.取り付く島もない。
B.取り付く暇もない。

ご協力ありがとうございました。

[調査者名一覧、および調査項目担当箇所]

国文学科 2 年	0309071 尾渕広明	設問②
	0309143 高橋直希	設問③・④
	0309016 奥出和広	設問①

1. 模擬調査票テーマ

国文学科在籍の文理学部生における、日常よく用いられることばの誤用の割合

2. 仮説の【説明変数】と<従属変数>、および該当する模擬調査票の設問番号

- (1) 新聞記事 (TV・ラジオ欄除く) を読む機会が多いほど誤用の割合は少ない
⇒ [週あたりの新聞記事を読む日数] <誤用の割合> 設問①
- (2) 文芸 (小説、評論等) 関連の書籍を読む機会が多いほど誤用の割合は少ない
⇒ [1ヶ月あたりの文芸書籍の読書冊数] <誤用の割合> 設問②
- (3) ネット上のウェブサイトに書き込みを行っている人は、行っていない人よりも誤用の割合が多い
⇒ [ウェブサイトへの書き込み経験の有無] <誤用の割合> 設問③
- (4) ネット上のウェブサイトに書き込みを行う機会が多い人ほど、誤用の割合が多い
⇒ [週あたりのウェブサイトへの書き込み回数] <誤用の割合> 設問④

3. 調査票の構成

I : 説明変数 (フェイス項目)、 II : 従属変数

4. 「ことばの誤用の割合」

- (1) 誤用の割合を知るための語句の抽出： 誤用の多い日本語語句の中から、班の各員

が日常で目にした機会の多い語句を「意味の誤用」「語句自体の誤用」から各 5 問、計 10 問を選出

- (2) それぞれの語句に対し正しいと考える回答を選択してもらう
⇒ 語句ごとの正用、誤用の割合分布がわかる
- (3) 各フェイス項目と語句設問の回答分布の対応を調べる

5. 設問の尺度 (1:名義尺度 2:順位尺度 3:間隔尺度 4:比尺度)

- I : ①新聞記事の購読日数 (4) ②文芸書籍の読書数 (4)
③ネット上のウェブサイト書き込み経験の有無 (1)
④ネット上のウェブサイト書き込み回数 (4)
- II : 10 個のことばの正しい用法の選択 (2)